

山崎中学校だより

令和7年9月1日 9月号

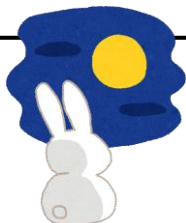
町田市立山崎中学校

校長 小平 千佐子

〒195-0074 町田市山崎町1445

TEL 042-793-1021

<https://machida.schoolweb.ne.jp/1320106>



戦後80年、逆転しない正義

校長 小平 千佐子

今年の夏は、41.8度という統計史上最高記録を出しながら、毎日気温の高い暑い日が続き、活動をする上で健康の心配が尽きない毎日でした。そうした44日間の夏休み、皆さんはどのような時間を過ごせましたか。学校では、多くの部活動が練習に励むとともに大会やコンクールで活躍をしたり、中学生フォーラムなどに参加したりと意欲的に活動をして、いろいろ頑張っている姿を見せていました。そうした皆さんの生き生きと何かに夢中になる姿には、たくさんの元気がもらえます。

さて、7月の終業式でも触れましたが、今年は戦後80年を迎えました。そうした中で、皆さんもこの夏戦争についての話題に、何かしら触れる機会があったのではないのでしょうか。常々私は、皆さんに戦争について歴史の事実を正しく知ること、そしてそれを通してこれからを、どのように生きることが人として大切なのかを考えてもらえたらと思っています。

そこで、皆さんもよく知っている「アンパンマン」の生みの親である、やなせたかしさんについてお話をします。やなせさんが作詞したアンパンマンマーチの一節に「何のために生まれて何をして生きるのか」というフレーズがあります。やなせさんの人生を通してそこにこめられた思いに皆さんにも触れてもらいたいと思います。



やなせさんは漫画界の重鎮として、94歳の生涯を閉じるまで豊かな活動を続けられました。長い下積み生活を経て花開いた苦労人でもあり、本業の漫画ではなかなか売れない時代が続いていました。しかし、代表作「アンパンマン」は世代を超えて人気を博し、皆さんも、アンパンマンを見て大きくなった人はたくさんいるのではないのでしょうか。

そんなやなせさんは、自己の戦争体験によって生涯を通して「生きること」への思いを伝えるために、「アンパンマン」を生み出しました。昭和16年21歳の時にやなせさんは徴兵され、中国へ出征し26歳まで軍隊で過ごしました。戦争に行った当時は、「この戦争は、聖戦だ」と歌う軍歌と共に、日本は中国を助けなくてはいけない正義のために戦うのだと思っていました。また、戦地では、食料がなくタンポポなどの野草を食べて飢えをしのご経験をしました。しかし、敗戦とともにがらりと風向きが変わった日本、昨日まで信じていた正義として教え込まれてきたものが、正義ではなくなり、敗戦の日を境に180度変わってしまったのです。

戦争と飢え、さらに戦争終結によってこれまで信じてきた「正義の理論」さえもがひっくり返ってしまうことに、やなせさんは正義とは何だったのだろうかと考え始めました。

「どこかの国で戦争が起きると、戦争をしている国同士は両方正義だ、悪い奴らをやっつけると正義が勝ったのだと言って戦っているけれど、子どもたちのことは見てやらない。そうした子どもたちが次々に死んでいく。でも、本当に正義の味方だったら、まず飢えた子どもたちを助けることが大事だと思った。そして、そんなヒーローを作ろうと思った」と語っています。そして、正義を行おうとすると自分も傷つく、でもそういう捨て身、献身の心なくして、正義は決して行えないのだということ、また、正義に勝ち負けなんて関係ない、困っている人のために愛と勇気をふるってただ手を差し伸べるだけなのだという思いが、やなせさんの中のこだわる「正義」でした。



「逆転しない正義、それは献身と愛」そして、弱者を助けること、自分の身を削って人を助けるアンパンマンに、そんなやなせさんの思いが凝縮しているのです。

今、世界のニュースやSNSなど私たちを取りまく世界を見渡すと、「正義」の名のもとに分断や憎悪を生み様々なぶつかり合いが多くの人々を苦しめている現状があります。本当に自分の中にある「正義」だけが正しいものなのか、常に意識して相手の立場に立って考え理解すること、歩み寄ることの大切さを忘れてはいけないのだと思います。私たちは、いつもそのことについて考えることが必要なのではないかと思います。やなせさんのアンパンマンに込めた大切なメッセージが皆さんにも届くと嬉しいです。

2学期も、またいろいろなことが待っている皆さんの毎日が、豊かな実りでいっぱいになりますように願っています。



漫画『銀の匙(さじ)』に学ぶ～実りの2学期に～

副校長 治田 修幸

長い夏休みが終わり、いよいよ2学期が始まりました。みなさん、夏休みはどのように過ごしましたか？ 私は、いつもよりも少し余裕のあったこの夏休み中に、大好きな漫画を1巻から読み返しました。今回はその漫画について、みなさんに紹介したいと思います。

私の好きな漫画は、荒川弘先生の『銀の匙 Silver Spoon』です。この漫画は、進学校での挫折から逃れるように農業高校に入学した主人公・八軒勇吾が、酪農や畜産、作物栽培といった「農業」の世界に飛び込み、様々な経験を通して成長していく物語です。山崎中の図書館にも置いてあります。

八軒は最初、農業の知識も経験もゼロ。豚を育てて食肉にする現実、早朝からの実習、命と向き合う厳しさに戸惑い、何度も壁にぶつかります。しかし、個性豊かな仲間たちとの出会い、そして「いただきます」の裏側にあるたくさんの命と生産者の努力を知る中で、彼は少しずつ変わっていきます。



例えば、八軒が育てた豚「豚丼」との別れのエピソードは、多くの読者の心に深く刻まれています。命をいただくことの重み、そしてその命を無駄にしないことの大切さを、彼は身をもって学びます。また、仲間たちと協力してピザ窯を作ったり、馬術部の活動に打ち込んだりする中で、一人ではできないことも、力を合わせれば成し遂げられるという喜びを知ります。

この『銀の匙』の物語は、私たちに多くのことを教えてくれます。

一つ目は、「知る」ことの大切さです。八軒は、それまで知らなかった農業の世界に飛び込み、多くの「なぜ？」にぶつかりながら、一つ一つ学びを深めていきます。私たちの学校生活も同じです。授業で学ぶ知識はもちろん、部活動や委員会活動、友人との交流、そして日々の生活の中に、たくさんの「気づき」や「学び」が隠されています。疑問に思ったこと、興味をもったことを、臆することなく探求してみましょう。

二つ目は、「命」と「食」への感謝です。私たちは普段、当たり前のように食事をしていますが、その一つ一つの食材が、誰かの手によって大切に育てられ、届けられていることを忘れてはなりません。『銀の匙』を読むと、食卓に並ぶもの全てに感謝の気持ちが湧いてきます。給食の時間はもちろん、家庭での食事でも、「いただきます」「ごちそうさま」の言葉に心を込めてみてください。

三つ目は、「仲間」と「挑戦」の力です。八軒は、一人では乗り越えられない困難に直面した時、必ず仲間たちの助けを得て、前に進んでいきます。そして、苦手なことや初めてのことに、諦めずに挑戦し続けることで、自分自身の可能性を広げていきました。2学期には合唱祭や、3年生は修学旅行、2年生は職場体験、1年生は校外学習など、仲間と協力して一つの目標に向かう行事がたくさんあります。失敗を恐れず、積極的に挑戦し、仲間と共に最高の思い出をつくり上げてください。



『銀の匙』の舞台である大蝦夷農業高校は、北海道の広大な大地にあります。これから迎える2学期は、「実りの秋」です。皆さんの学びや活動が、豊かな実を結ぶことを願っています。八軒のように、未知の世界に飛び込む勇気を持ち、日々の生活の中で多くの「銀の匙」を見つけられる、そんな2学期にしていましょう。この2学期が、皆さんにとって心豊かな時間となることを心から願っています。

【卓球部】



山中生の活躍



町田市ジュニア・カデット大会	男子シングルス	さん	Bリーグ準優勝
----------------	---------	----	---------

【バドミントン部】



城南オープンバドミントン大会	男子シングルス2部	さん	優勝
----------------	-----------	----	----

【吹奏楽部】



第65回東京都中学校吹奏楽コンクール 東日本部門	銀賞	おめでとう!	
--------------------------	----	--------	--

【ソフトテニス部】



ソフトテニス夏季研修大会	男子個人	さん・	さん	優勝
	女子個人	さん・	さん	優勝

ソフトテニス部 都大会出場!!

ソフトテニス部が、7月22日（火）・23日（水）に行われた都大会に男女とも出場しました。夏の照りつける日差しの中、日頃の練習の成果を存分に発揮し、相手チームに対して臆することなく、堂々としたプレーを見せていました。都大会という大舞台で得た経験は、部員のみなさんの大きな成長に繋がったことでしょう。今後のさらなる活躍が楽しみです！



吹奏楽部 コンクール出場 銀賞獲得!!

8月8日（金）に、吹奏楽部が東京都中学校吹奏楽コンクール東日本部門に出場し、見事、銀賞を受賞しました！ 美しいハーモニーを響かせ、一丸となって堂々と演奏する姿は、聴衆に大きな感動を与えました。これもひとえに、部員のみなさんが日ごろ積み重ねた努力の結果です。この経験を糧に、今後もさらに成長することを期待しています。



生徒会役員、中学生フォーラムで活躍!

7月31日（木）、「みんなが行きたいと思う学校にするために」をテーマに開催された中学生フォーラムに、山崎中から生徒会役員が参加しました。生徒たちの主体性を尊重し、学校行事への参加を促すアイデアや、生徒間のコミュニケーションを活性化させるための具体的な自校の事例を紹介し、他校にとって良き参考となっていました。今回の経験を活かし、生徒会が中心となって、さらに魅力的な学校づくりを進めることを期待しています！



☺お知らせ☺ 分教室「ゆめのき」が移転しました!

この夏休み期間中に、分教室「ゆめのき」が移転しました。移転先は、旧町田の丘学園山崎校舎内の教育センターになります。これまでより本校との距離が少し近くなります。

☆9月の予定☆

1	月	始業式 引取訓練 心のアンケート 職員会議	16	火	学校公開日(～20日) 一斉委員会
2	火	給食始 合唱祭実行委員会	17	水	小中合同研修会(七国山小)
3	水	あいさつキャンペーン(～5日)	18	木	中央委員会
4	木	復習確認テスト(3年) 一斉委員会 修学旅行前検診(3年)	19	金	通学区域保護者説明会 1
5	金	中央委員会	20	土	土曜授業(5h) 通学区域保護者説明会 2
8	月		22	月	振替休業日
9	火	生徒会朝礼	23	火	秋分の日
10	水	道徳授業地区公開講座 学校運営協議会	24	水	
11	木	生徒会役員選挙	25	木	中間考査
12	金	合唱祭実行委員会	26	金	中間考査 合唱祭実行委員会
15	月	敬老の日	29	月	
			30	火	議案書討議① 一斉委員会

